

令和7（2025）年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

メリー★ポピンズ 神楽坂ルーム

特定非営利活動法人 福祉総合評価機構

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「にんげん力」を身に付けるために必要な遊び・野外体験を提案実践し“自分で考え、行動する思考”を育みます。 2) 10よりも100の経験を与え、子どもが“したいと思う活動”を安全に行えるように見守り、支援してゆきます。 3) “感じたこと・考えたこと”を言葉でジェスチャーで、表情で、描いて、造って、表現できる子どもを育成します。 4) 「0を1にかえる力」を日本中の子どもたちにつけ、物事を投げ出さずに向き合う若者が社会を支える世の中を創ります。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育現場で求める人物像 現状に満足せず自己の成長を常に意識している人 やって見せてあげて背中であげてゆける人 より良い保育を目指して創意工夫していける人 ・社会人としての質向上 忙しさや大変さを表情や口調に出さず、いつでも笑顔心を心がける。お願いします、ありがとうございます、など仕事中的言葉遣いに注意し、正しい日本語を身に付ける。子ども全体を見て自分が今、何をすれば良いのかを判断して、自ら行動したり、提案する。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士としての質向上 子どもの命を預かる重みを自覚し、守らなければいけないことを遵守し、常に平常心で子どもと接する。後輩には自分の知識を教え、育てる気持ちを持ち、一人ひとりがリーダーになるという気持ちで責任を持って保育を行う。

調査対象

調査開始時点での当園の利用世帯21(在籍児童数23)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国語世帯のみ調査票の直接郵送)にて行った。結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数	23
利用者家族総数(世帯)	21
共通評価項目による調査対象者数	21
共通評価項目による調査の有効回答者数	20
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	95.2

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」85.0%・「満足」15.0%の計100%と高い値で、設問別でも「発達に配慮した保育活動」「急な残業等への配慮」「子どもの気持ちの尊重」など、全17問で80%台～100%の高い支持を得ている。自由意見では「よく外遊びをさせてくれ、それが何より子どもの成長につながると感じ、大変助かっており、アプリでの連絡、おむつも名前書き不要など、親にとってもありがたく、先生も皆さん感じがよい方ばかりで写真も毎日シェアされて安心している」「先生方が大変温かく、子どもに一番に寄り添い、いろいろな経験をさせてくれ、急なスケジュールにも対応してくれて、心感があり、給食を作ってくれる方も本当に子どものことをよくわかってきているのが伝わる」「2歳児になるとバスに乗って畑仕事や泥んこ遊び、動物と接することができ、夏は例外だが散歩が他園に比べて頻度が高いことが気に入っている」「異年齢での関わりができ、外で遊ぶ機会が多いこと、少人数なので大体の先生と話ができることがよい」などの声が寄せられている。要望などとしては、情報発信や持ち物の管理、利用終了後の支援継続、玄関での受け渡しに関することが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	20	0	0	0
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、有効回答者20人全員(100%)が「はい」と答えている。自由意見には「毎日いろいろな経験をさせてくれ、子どもも楽しんでいる」「先生方が子どもを尊重し、寄り添っていると感じる事が多く、子どもは毎日楽しく保育園に行っていて、お友達を通じて多くのことを学んでいる」「入園してから飛躍的に語彙力が上がり、人と関わるのも上手になってきた」「外遊び・室内遊び、どちらも大変活動的で、身体の発達だけでなく精神面の安定にもつながっている」など6件があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	20	0	0	0
有効回答者20人全員(100%)が「はい」と答えている。自由意見には「リズム体操や水遊び、お部屋・公園での遊びなど、工夫され、飽きないようにしていると感じる」「活動も豊かだが、異年齢の関わりが大変刺激的で新たな興味関心事を育み、自らがやりたい気持ちを伸ばしてくれているのが大変ありがたい」「徳に週に2回の北千住へのバスでのお出かけ、泥んこ遊びが気に入っているようだ」「わが子の興味・関心を尊重してくれていることがすごく伝わり、そのおかげもあり、どんどんやれることが増えている」など7件が寄せられている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	19	1	0	0
「はい」が95.0%、「どちらともいえない」が5.0%となっている。自由意見は8件で、「栄養に気遣い、食べやすい大きさで提供され、食育もよく行われ、子どもも集中して参加している」「とてもおいしく、栄養バランスもよく、喜んで食べているようだ」「調理の方が心を込めて作ってくれていると感じ、毎日写真で教えてくれてありがたい」「入園の際、咀嚼が苦手な子どもに合わせた調理を行ってくれて、軟らかさの試食までさせてもらい、保護者の安心のため工夫してくれている」などのほか、果物メニューの充実を望む声があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	19	1	0	0
<p>「はい」が95.0%、「どちらともいえない」が5.0%となっている。 自由意見は6件で、「週に2回北千住の園に行って畑作業や動物と接したり、泥んこ遊びはなかなか他園ではできないので、とても素晴らしい」「お散歩の時、近所のたばこ屋さんに手を振ってもらったり、イベントの時は老人ホームに行ったり、たくさんの経験をさせてもらっている」「天気や体調に合わせた中で、できるだけ外での活動を行ってくれるので、日頃家ではできない遊びをたくさん経験できている」などのほか、「商店会ツアー」の内容を知りたいとの声があった。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	15	0	0	5
<p>有効回答者15人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見には「忙しい時にもお電話をすると、大丈夫ですよ、と温かい言葉をもらえるので、安心して預けることができている」「電話で延長をお願いした際も快く承諾してくれ、焦っていたが助かり、安心した」「仕事の都合でも柔軟に対応してもらえる」「延長や早めの迎えなど、対応してもらえる」の4件が寄せられている。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	17	1	1	1
<p>「はい」が89.5%、「どちらともいえない」が5.3%、「いいえ」が5.3%となっている。 自由意見は6件で、「整理整頓もされていて、また、お迎えの際もこまめに声かけており、子どもの安全を考えてくれている」「ちょっとしたケガは仕方ないと思っているが、ささいなことも報告してくれて、私以上に心配してくれる」「玄関はロックがされていて、中からしか開けられないようになっており、防犯対策をされていると感じる」などのほか、保育中の安全管理等について、気になる点や要望が挙げられている。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	18	1	0	1
<p>「はい」が94.7%、「どちらともいえない」が5.3%となっている。 自由意見は4件で、「土曜日に設定されて参加しやすい」「土曜日にしてくれて、先生方に負担がないかと思ってしまうくらい考慮してくれている」「無理のない日程が設定されている」「行事について、いつも楽しませてもらっている」のほか、要望などとしては、行事の連絡などにおけるさらなる配慮を望む声寄せられている。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	20	0	0	0
<p>有効回答者20人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見には「毎日丁寧に連絡帳も記入してくれ、しっかり情報交換ができていて、また、入園してすぐ少し不安があった際は、詳細に説明してくれたことで不安も解消し、信頼関係ができた」「お迎えに行くこと丁寧にその日のことを報告してくれ、その時に抱えている悩みを相談するとプロの目線でアドバイスをもらえるので大変心強い」「いつもいろいろと話を聞いてもらっている」「アプリを通じて日頃の様子をかなり詳しく教えてもらっている」など6件が寄せられている。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	18	2	0	0
<p>「はい」が90.0%、「どちらともいえない」が10.0%となっている。 自由意見には「きれいに整理整頓、掃除がされている」「整理整頓され、きれいに保たれていて、またおむつの臭い等もせず、環境が素晴らしい」「いつもすごくきれいである」の3件が寄せられている。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	20	0	0	0
<p>有効回答者20人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見には「温かい態度と言葉で安心して任せることができる」「とても丁寧に丁寧に対応してもらっている」「先生同士、いつも笑顔で話をしていて、いい雰囲気である」の3件が寄せられている。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	19	1	0	0
<p>「はい」が95.0%、「どちらともいえない」が5.0%となっている。 自由意見は5件で、「微熱で怪しい時、すぐに電話をくれ、病院に行くことができ、その時は感染症もはやっていて、子どもに無理をさせないように配慮して早めに連絡をくれた」「小さな傷などでも必ず説明してくれるので、信頼できている」「適切に連絡してくれる」「対応が悪いと思ったことはない」のほか、体調不良時の病院受診について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	16	1	0	3
<p>「はい」が94.1%、「どちらともいえない」が5.9%となっている。 自由意見は4件で、「その日のうちに出来事を話してくれるので安心である」「かまれてしまった時も、先生と園長が出てきてくれて、状況をご説明してくれて安心した」「見守りつつルールを教えている」のほか、トラブル発生時の保護者への報告・説明について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	20	0	0	0
<p>有効回答者20人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見には「いつも子どもの気持ちに寄り添ってくれている」「イヤイヤ期であるわが子の気持ちを受け止めてくれている」「よくみていてくれる」の3件が寄せられている。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	20	0	0	0
<p>有効回答者20人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見には「まだそのようなタイミングはないが、そのような時は安心してお願いできる」の1件が寄せられている。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	19	1	0	0
<p>「はい」が95.0%、「どちらともいえない」が5.0%となっている。 自由意見には「入園時の説明、日々の保育の内容は、丁寧に教えてもらっている」「いつも具体的に細かいところまで説明してくれるので、その日の様子がよくわかる」「不明な点も必ずフィードバックがあり、安心している」「過ごし方や友達との関わり方の話はよく聞くと、成長に応じて気づいたことがあれば、家での関わり方や教え方等ももっと教えてほしい」の4件が寄せられている。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	18	0	0	2
<p>有効回答者18人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見には「いつも帰りに、今日は何があったか、子どもはその時どうだったかを、細かく教えてくれる」の1件が寄せられている。</p>				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	14	1	0	5
<p>「はい」が93.3%、「どちらともいえない」が6.7%となっている。 自由意見には「入園時、説明を受けた」の1件が寄せられている。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	法人共通の理念や目標等について、保護者との相互理解や職員への周知が図られている 「にんげん力。育てます。」を法人の理念とし、子育て目標「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」や、「ケガをしない強い体を育てる」をはじめ、子どもたちに育む心身の「6つの力」とともに、保護者には見学・入園時の説明と、保護者懇談会や日々の発信物等を通じた、子どもたちの育ちと園の諸活動の紹介を通じて、共通理解と信頼の獲得に努めている。職員には入職時とその後の法人の各種研修、園内における年度開始時の「策定会議」「キックオフミーティング」、毎月の「園会議」等での話し合いが、周知と再確認の場となっている。 組織全体で年度の園の方向性を定め、職員の献身が園を前へと進める仕組みを設けている 法人が毎年度、上記の理念・目標等を踏まえた「運営本部ミッション」を定め、これをもとに年度の園の目標や事業計画が定められている。年度開始前に2回にわたり行う上記の策定会議では、全職員参加のもとで、今年度の園の目標「あったか神楽坂～自分らしくいられる場所～」と、行事その他の年間予定をはじめ、園の運営全般を話し合い、決定している。また事業計画には保育や保護者・地域支援など、各分野で園の年度の重点施策を設定し、これを各職員の育成目標に反映させ、各人の貢献・成長が園を前へと進める、マネジメントの工夫がなされている。 目的に応じた会議での意思決定や課題検討と、保護者への各種連絡の仕組みを整えている 園単位の種々の意思決定は、上記の年度開始前の各会議と毎月の園会議で主に行い、園会議には原則全職員が参集し、直近の諸課題に関する検討のほか、上記の園目標の実践・達成や、重点施策の一つとする保育環境の整備について、検討や経営層からの啓発が随時なされている。また同会議内の「事故防止委員会」では安全の向上に係る各種検討、「子育ての質をあげる会議」では、子どもの人権擁護や法人の保育などに関する研鑽がなされている。保護者への各種の重要事項の伝達は、主にアプリでの配信によって行う仕組みとなっている。	

カテゴリ-2	
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリ-1(2-1)	
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している <input type="radio"/>非該当

サブカテゴリー2(2-2)		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
実践的な計画策定に取り組んでいる		5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
園の運営・重点施策等に関する各期間の各計画の作成と、経営状況の管理がなされている 年度の事業計画に、年度の法人のスローガン及び園の目標と、保育内容の充実・質の向上、保護者・地域支援、人材育成、環境の整備・美化及び食におけるエコ活動について、年度の重点施策を定めるほか、年間の保育・食育・保健など、園運営全般の諸活動や、会議・研修等に関する年間予定、各種係の役割などを記載している。またこれに加え、毎年度更新の3か年計画に、当年度から3か年の目指す姿・重点施策と、前年度の振り返りを併載している。予算の作成・管理をはじめ、園の経営状況の把握と管理は、法人が園と随時連携して行っている。		
各種の業務計画の作成・実行と、保護者・職員の意向の把握の仕組みが整えられている 事業計画中の保育をはじめとする各種業務に関しては、分野ごとに年間と各期間の実行計画に、取組内容や目標・ねらい等を定め、計画の期間に応じた進捗確認のもとで実施している。また上記を含む各計画の作成や、日々の園運営の参考として、保護者の意向を、日々の交流や保護者懇談会での傾聴、法人によるアンケート等から収集している。また職員の声は、前述の各会議や経営層による定例・随時の面談のほか、法人が行う内部監査と並行して実施される、運営や組織の同僚性・労働環境等に関する意向調査などから把握し、課題抽出に活かしている。		
地域や行政・業界など、事業環境の関する情報を収集し、運営や計画作成に活かしている 入園前見学や後述の地域子育て支援「ちきんえっぐ」で、地域の未就園家庭が来園しており、交わされる会話などから、地域内の子育てや保育・教育などの傾向・ニーズを探っている。また行政の制度・政策の情報や業界内の話題などを、関係自治体の各種発信物や関連の各種報道のほか、法人内の系列園が集う各会議や、法人制作の各種の教育動画コンテンツの視聴などを通じて把握している。これらの各種情報も園運営や計画立案の参考とするほか、保育・教育や労務・処遇など、職員に周知させるべき情報は、園会議等を通じて随時傳達されている。		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー3の講評		
<p>職員の倫理観を常に高く保てるよう、多様かつ継続的な啓発がなされている</p> <p>入職者には法人・園での初期教育により、子どもの人権の尊重と虐待の防止、守秘義務など、保育者としての倫理や、社会人・職業人としての基本心得に関する啓発がなされており、子どもの人権と虐待防止については、全職員が法人作成のチェックリストに基づいて、年2回の内省を行っている。また「コンピテンシー」として、「プロになる」「保護者の立場に立つ」「ビジネスマナー」など7分野で、法人共通の職員の判断・行動規範が示されており、各職員が毎月所定の分野・項目を自己点検し、上席者が確認して個別に啓発を行い、次月に振り返っている。</p> <p>園・家庭双方での虐待等の防止の徹底と、保護者の意向への適切な対応に努めている</p> <p>いわゆる不適切保育の防止の徹底に注力し、上記に加え、保育者の適切な接遇と、子どもの権利と自由の保障の観点で、話し合いや法人のマニュアルの確認、活動・環境両面の事例の共有など、さまざまな取組を行っている。また家庭での虐待・育児困難等の早期発見・防止についても、別に法人共通のマニュアルを整備し、疑いや事案を把握した際には、法人内での検討のもとで行政機関と連携する体制を整えている。保護者の意向は日々の交流を通じて把握し、案件ごとに適切な対応を図るほか、苦情解決制度や意見申し出用のウェブフォームも整備されている。</p> <p>地域に園の情報・機能を積極的に提供し、地域のコミュニティとの協働にも努めている</p> <p>ホームページ・SNSや行政の各種媒体を通じた情報発信、園の門扉や外周策での種々の広報など、透明性の向上に努めるほか、実習生等の来園に備え、法人のマニュアルに受け入れの手順等が明記されている。また「ちきんえっぐ」と題した地域向けイベントでは、近隣の公園での「青空保育」やさまざまな食育・制作体験、夏の水遊びなど、毎月多様な企画を提供しており、来園者への育児相談対応も実施している。区公式の認証園事業者の連絡会等は設けられていないが、地域の町内会には職員が園児と一緒にゴミ拾いイベントに参加する等の協力をしている。</p>		

カテゴリー4	
4	リスクマネジメント
サブカテゴリー1(4-1)	
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	
サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5	
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	
評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる
サブカテゴリー2(4-2)	
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	
サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4	
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	
評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している
カテゴリー4の講評	
園の立地や子どもの特性を踏まえ、日常の事故を防ぐための各種対策を行っている 乳児園であることから、指挟みや閉じ込めなど、不注意と設備要因により起こりうる事故の防止に注力しており、毎月設ける「事故防止委員会」でも随時啓発するほか、事故・ヒヤリハット事例等をもとに園内ハザードマップを作成・更新している。また園の前の道路は、歩道の自転車を含め一定の交通量があることを踏まえ、散歩時の事故防止にも注力しており、散歩や「商店街ツアー」で利用する園周辺についてもルート・ハザードマップを作成している。事故等の事例は遅滞なく検証して防止対策を検討し、前述の事故防止委員会で共有や考察を行っている。	
防災・防犯対策や定期的な安全点検、安全・保健面全般の対応手順等の確認も行っている 園内の各種設備・備品と誤嚥・誤飲防止について、法人共通の各チェックリストによる安全点検を年4回行うほか、毎月の防災訓練では開所中の各時間帯・状況を想定して災害時の対応を確認し、防犯訓練も年2回設けている。また全職員が所持する「保育品質マニュアル」には、災害・感染症に関する法人共通のBCPが掲載されている。子どもの睡眠時の状態確認や猛暑時の戸外活動等の自粛など、日常的なSIDS・熱中症対策にも努めるとともに、年度開始前の「キックオフミーティング」では安全・保健面全般について、対応手順や考え方を確認している。	
各種情報の管理・利用と漏洩防止などについて、仕組みと環境をさまざまに整備している 各種情報の取り扱いについて、職員には入職時の研修・OJTや年2回の「情報セキュリティチェック」が設けられており、上記の保育品質マニュアルにも、紙・電子の各媒体や端末機器類の利用・管理、情報漏洩の防止とプライバシー・肖像権の保護などに関し、遵守・禁止事項が詳細に定められている。園内でもこれらに基づき、重要書類の施錠管理や端末・ソフトウェア類の各種セキュリティ設定等がなされ、端末類の使用状況などを法人が管理する仕組みも設けられている。保護者には個人情報の利用目的や開示等の請求について、入園時に説明を行っている。	

カテゴリー5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)	
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	評点(〇〇〇)
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる <input type="radio"/>非該当
カテゴリ5の講評	
<p>人材の確保と園の状況に即した活用に努め、労働環境面の各種整備にも取り組んでいる</p> <p>法人の人事・採用担当部門が、各種養成校・人材関連業者など複数のルートを通じた職員の募集・採用と、各施設の体制の状況に応じた配属・異動を統括し、異動・配置などにおいては、経営層との面談と法人が毎年度設ける「キャリアデザインアンケート」により、各人の意向も把握している。園内では各クラスの状況と、職員間の関係性や個別の経験・能力などを考慮して配置を決定し、保育の安定・充実とチームとしての活力向上を図っている。職員の就業状況や心身の健康状態の把握、相談窓口の設置やストレスチェックなど、労働環境の整備もなされている。</p> <p>段階的な職責の指標と育成・研修の体系を整備し、職員の能力・意欲の向上を促している</p> <p>法人の給与規程上の資格等級表に、経験・職位ごとの職責が一覧化され、「保育品質マニュアル」中の「人材育成・研修計画」には、法人内の研修等の体系が示されている。常勤者には年度の事業計画中の重点課題をもとに、左記の等級に応じ、個人及び組織の一員としての成長目標を設定し、半期ごとに達成評価を行うMBO(目標管理)の仕組みがあり、処遇への反映によって意欲の促進にも活かされている。また新入職者には着任施設内で「OJT研修」を実施し、先輩職員による実務的な指導と助言・相談対応などを通じ、基礎業務全般の習得を促している。</p> <p>研鑽と課題解決の場が法人・園で多様に設けられ、保育の質的向上の基盤となっている</p> <p>法人内に各種の研修と多種多様な課目のEラーニング教育コンテンツが整備され、新人・リーダー育成や「保育品質マニュアル」等の法人共通の知見に関する研鑽と、職位・職種や経験に応じた専門性の向上が図られている。また「子育ての質をあげる会議」では、各施設の担当者が参集して年度ごとの共通テーマに関する研鑽を重ね、園内でその学びをもとに、今年度は法人の保育の各エッセンスを、保育所保育指針等と関連づけながらより深めてゆく取組を続けている。虐待防止や安全・保健などについても、話し合いや事例を踏まえた課題の検討がなされている。</p>	

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<p>昨年度は法人のスローガン「あなたはどうするか」大人も主体性～考え、学び、動く、自立した集団～のもとで、施設目標「守る支援、指定する支援から、子どもの主体性を育む保育チームになる」を定め、これを踏まえて事業計画上の各分野における重点施策を設定した。「保育内容の充実・質の向上」「次世代を担うスタッフ育成」の各分野では、内外の研修への積極的な参加により、個人・組織ともに知見と技術を高めることを「実践予定内容」に挙げ、園の保育の質と組織のチームとしての総合力をともに高めることを目指すこととした。事業計画には毎月行う園内研修の年間の予定をあらかじめ定め、順次実施するとともに、各種キャリアアップ研修について、各職員の履修状況に応じて受講を促した。またこれらのための時間や園内の体制について、シフト作成時の工夫により確保を図った。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>園内研修は毎月の体制の状況により、実施の日時には当初の計画とのずれがたびたび生じたものの、概ね予定通り実施した。また各種キャリアアップ研修や系列他園の視察研修など、園外での研鑽もさまざまに持たれ、それらの実績は前年度から倍増しており、学びを園会議で報告し、共有する機会も随時設けられている。また調理スタッフが都の「子育て支援員」資格を取得したり、救命救急講習等の受講も活発になされている。</p> <p>今年度は施設目標を「あったか神楽坂～自分らしくいられる場所～」とし、各分野の昨年度の成果と課題をもとに各重点施策を定めており、昨年度の振り返りとして、社外の知識の獲得に比べ、社内のルールやマニュアルの認識には職員ごとにばらつきが見られたことから、「次世代を担うスタッフ育成」の分野では「正しい知識の習得・展開」「リーダーの育成」をねらいとし、自治体の監査や法人の内部監査の前の自主点検と是正計画の策定・実施などを実施予定内容として、内部監査でのAランク獲得を目標に、個別の指導や園内研修を実施している。また各人の学びを活かし、法人共通のマニュアルや帳票類の改定に対しても意見を上げていくことも、併せて目標としている。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度の事業計画の冒頭には、「生活力・選択力・思考力を育む教育・保育・支援を「自分の頭で考えられる」職員になる」を重点施策の一つに挙げた。法人の理念に謳う「にんげん力」を子どもたちに育む前提として、それを担う職員一人ひとりが主体的・自発的に発想し、行動する力を培うべきとの前施設長の考えによるものであり、上記「評価項目1」に既述の施設目標の基盤ともなるものである。そのための取組として、日々のリーダー役に加え、行事をそれぞれの職員が持ち回りで担当する決まりとして、施設長や他のスタッフの協力を得ながら、主担当者として企画・準備や当日の進行の主担当を担うこととした。また発注業務や書類チェック等の周辺業務も、常勤者それぞれが単独で行えるよう、タスクを各人に振り分け、随時経営層が支援を行った。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評

今年度の事業計画書末尾に記載される昨年度の振り返りには、「スタッフの「どうしたらいいか」の問いかけに対し、「あなたならどう考えるか」を問いかける対話を日常的に行い、洞察力を高めた」「園会議で好事例を共有し話し合い、考える動機付けができた」と述べられている。

経営層は取組の成果として、新卒入職者を含め、それぞれの職員が散歩の行き先や日々の役割分担等を決定できるようになり、その効果として日常の保育や休憩が円滑に行えるようになったと考えている。また上述の発注事務等の保育周辺の各種業務についても、各職員のスキルアップが図られている。

今年度は各職員の自律性や主体性をより高める一環として、評価項目1に既述の社内のマニュアル・ルールの変更への意見の発信を目標とするほか、日々の円滑な業務の実施に加え、それらの負担差や職員間の不公平感の抑制を図るとともに、その成果を活かし、子ども一人ひとりの発達や特性により即した計画作成や支援を行うことを、マネジメント上の課題としている。また在籍園児数が昨年度より増加したことから、職員間で分担していた周辺業務については副施設長に集約し、現場の負担の軽減を図っている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている <input type="radio"/>非該当
	サブカテゴリ-1の講評	
	<p>各種のウェブ媒体を活用して、園の情報をさまざまに発信している</p> <p>園のホームページでは、所在地や定員、運営時間などの基本情報に加え、園便りや食育・保健便りなどを通して、保育の姿を具体的に伝えている。法人ホームページでは、系列園に共通する保育の考え方を、「どろんこの子育て4つの軸」「身につく6つの力」として整理して発信するとともに、認証保育所としての概要、月極と一時預かりの利用料金なども掲載している。SNSでも法人グループで全体で推進する、安心な食材を用いた給食提供と農作物の自給自足に向けた活動やセミナーの紹介などを発信し、区のホームページにも基本情報が掲載されている。</p> <p>「入園のしおり」に園の特色を記載し、地域子育て支援に関するチラシを配布している</p> <p>見学者や利用希望者に配布する「入園のしおり」では、園が大切にしている子どもの育ちを具体的に6つの力に分類して示し、それらを育むための具体的な活動の内容や、援助の考え方・方針についても説明がなされている。さらに災害や子どもの体調不良が発生した際の対応方法、苦情解決の仕組み、毎日の園生活で必要になる荷物など、保護者が知っておくべき実用的な情報が掲載されている。また地域子育て支援に関するチラシや保健便りを、区役所や児童館、支援センター等に設置してもらうほか、「青空保育」の際にも持参し、地域の方に配布している。</p> <p>園見学を受け入れ、園の保育の特徴や子どもの姿、認証保育所の概要等を伝えている</p> <p>園見学は電話とホームページのフォームで受け付けており、連絡後に折り返して保護者の都合を確認している。落ち着いて案内できる時間として、水曜日の10時を基本としているが、難しい場合は双方の予定を調整して対応している。見学時には、日課を大切にしていることや戸外活動・畑作業の内容とねらい、異年齢保育や商店街ツアー、準備物、バス移動を含む活動の流れ等を説明している。認証保育所の仕組みや職員配置は、所定の資料をもとに誤解のないように伝えるほか、活動の様子は日々のタイムライン配信や園便りを示しながら紹介している。</p>	

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園時の面談で重要事項を説明し、その後も複数の手段で情報を発信している</p> <p>入園時には個別面談を実施し、「入園のしおり」と重要事項説明書に沿って全項目を説明している。説明は職員が読み上げて行っており、保護者が一つずつ確認したうえで署名を行う仕組みとしている。認識の齟齬につながらないよう、利用料金や延長保育の予約方法など誤解が生じやすい項目は、事例を用いて内容を明確に伝えるよう心がけており、日本語の理解に不安がある家庭には、翻訳機を用いて内容を伝えている。入園後もアプリでの配信や懇談会での説明、掲示物など複数の手段を用いて、園の決まりやお願い事項等、必要な情報を発信している。</p> <p>入園前の面談で子どもと保護者の情報を確認し、職員間で共有する仕組みを整えている</p> <p>入園前面談では「入所前面談票」を用い、子どもの性格や生活リズム、健康状態、家庭の意向、配慮事項などを記録している。またアレルギーがある場合は調理スタッフ・担任・施設長が個別面談を行い、詳細な情報を確認している。面談時に把握した情報は、関連書類をまとめて整え、全職員が利用し、園全体で統一した対応を行えるようにしている。入園後も面談や保育参加、試食の機会などを設け、子どもの様子を保護者と共有し、共通理解を得られるよう努めるほか、朝礼・昼礼や日々のやり取りを通して、子どもの変化を職員全体で共有している。</p> <p>入園直後とサービス終了時の子どもと保護者の不安への配慮に努めている</p> <p>入園直後は、子どもが新しい環境に慣れやすいよう、保護者と相談しながら、徐々に時間の延ばしてゆく「慣れ保育」の進め方を調整している。乳児ではできる限り同じ保育者が継続して関わる体制とし、安心して生活リズムを整えられるようにしている。子どもの様子は職員間で共有し、送迎時の報告や連絡帳、アプリを通して保護者へ伝えるとともに、保護者の意向を聴き取り、家庭の状況を把握することで、一人ひとりに合った援助につなげている。転園時には、保護者の悩みや園選びの相談に応じ、サービス終了後の不安への配慮に努めている。</p>			

サブカテゴリー3		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	13/13
3	個別状況の記録と計画策定		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	

評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評		
<p>法人と園内で定めた様式と手順に沿って子ども一人ひとりの情報を蓄積している</p> <p>個別記録や個別計画など、法人及び園内で定めた統一様式を用いて子どもの心身や生活状況を記録し、また設定された期限に沿って作成している。個別記録では前月の姿を踏まえて生活面や遊びの変化を整理し、エピソード記録も併用して子どもの様子を多面的にとらえている。保護者からの意見は随時受け付け、「ご意見・ご提案シート」に記録し、全職員で原因や過程、対応を話し合っており、個別面談が行われた場合は面談記録を残し、家庭の状況を整理する仕組みがある。毎年の利用者アンケートは本部で集計し、保護者が閲覧できる形で公開している。</p> <p>全体的な計画を基盤に、子どもの姿と保護者の声を踏まえて指導計画を作成している</p> <p>法人及び自園の保育方針をもとに作成された全体的な計画を基盤として、年間指導計画や月案・週案・日案が作成されている。日々の記録から子どもの生活や遊びの様子を把握し、活動内容や環境構成に反映している。保護者の意向については、送迎時の伝達や日常のやり取りから把握し、子どもの状況と併せて計画作成に反映している。また、個別記録では一人ひとりの育ちを継続して確認し、保育の見立てに活かしている。年2回の保護者懇談会では子どもの様子や計画の内容をまとめた資料を配付し、家庭と園で子どもの育ちを共有する機会としている。</p> <p>伝達用のノートや日誌を活用して、子どもの情報を全職員で共有できるようにしている</p> <p>「シッターノート兼お迎え伝達ノート」「園日誌」「保健日誌」などに子どもの状況を記録し、職員間で共有する仕組みを整えている。朝の受け入れ時には保護者から得た情報や子どもの様子を記入し、お迎え時には園での出来事や特記事項を記入している。記入者と伝達者の署名欄を設けることで、伝達内容を職員全員が確認できる仕組みとなっている。保護者の状況に変化があった場合も同様に日誌等で整理し、朝礼や昼礼、園会議を通して全職員で共有している。また、園会議では個別の事例を採り上げ、子どもの行動や背景を多面的に確認する機会としている。</p>		

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	5 / 5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>個人情報の保護や着替え時の配慮を通して子どものプライバシーを守っている</p> <p>入園時に個人情報の取り扱いについて利用目的を明示し、保護者の同意を得たうえで必要な情報を取り扱うように定めている。写真などの肖像の利用についても可否を確認し、掲載に関する同意書を取得している。子どもたちは名札の着用を基本としながら、名前が見える形にするか見えない形にするかを保護者に確認し、家庭のプライバシー観に沿って選択できるようになっている。着替えや排せつの援助では、子どもの羞恥心に配慮し、全裸にならないよう声を掛けているほか、援助は他から見えにくい場所で行うよう職員にも同様の指導を行っている。</p> <p>子ども一人ひとりの人格を尊重した援助に取り組んでいる</p> <p>子どもの人格を尊重する姿勢を大切に、名前を呼び捨てにしたり、あだ名で呼んだりしないことを基本のルールとしている。一人ひとりの特性や性格、健康上の配慮を要する体質を踏まえ、丁寧な関わりを行うことを重視している。入園時の聴き取りや日々の関わりを通じた情報、定期的に行う成長・発達のアセスメント結果を職員間で共有し、保護者との共通理解を図りながら、得られた情報を保育や援助に活かしている。食物アレルギー児には、面談時の情報や医師の診断に基づき除去食を提供し、安全性を確保している。</p> <p>不適切な保育の防止や人権尊重に向けた学びの機会をさまざまに設けている</p> <p>不適切保育の防止に向けて、子どもと保育者が1対1にならないよう留意するほか、気になる子どもの姿は昼礼などで速やかに共有し、必要に応じて保護者との面談の機会を設けている。人権擁護に関する職員の自己チェックを行うほか、組織内の「虐待防止委員会」「事故防止委員会」「給食運営委員会」などでは、子どもの様子や支援の課題を議題として扱っている。また子どもの行動を過度に制限しない援助や合理的配慮、性教育の基本、インクルーシブ保育などを扱う研修を実施し、グループ討議や事例検討を交えて理解を深めている。</p>		

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5 / 5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>「保育品質マニュアル」やチェックリスト等に、業務の標準や留意事項を示している</p> <p>法人共通の「保育運営マニュアル」に運営に関する業務の基準が示されている。毎年4月に改訂される保育品質マニュアルには、安全確保や保育内容に関する標準が示されており、全職員に配付し、必要な場面でいつでも基準を確認できるようにしている。ケガ・病気・衛生管理などのフローチャートは保育室に掲示またはリング留めで配置され、緊急時に迅速な判断ができるよう工夫されている。事故防止や設備点検に関するチェックリスト、清掃チェック表なども整備し、業務の基本的な流れや確認事項を、随時点検できるようにしている。</p> <p>業務の標準の再確認の機会をさまざまに設けている</p> <p>日々の保育を基準に沿って運用するため、上記の通り事故防止や設備点検などに関するチェックリストを活用し、環境・備品・職員の行動における確認を計画的に実施している。また散歩ルート危険箇所は「お散歩マップ」を作成して共有し、安全確保に努めている。新年度に向けて実施する「キックオフミーティング」では、事故防止や安全管理に関する留意点のほか、嘔吐処理や抗アレルギー剤の使用等の即時対応について再確認している。グループ内の各種会議や研修など、発達・接遇・乳児保育・危機管理などについて学び直す機会も設けられている。</p> <p>サービスや保育実践の質向上に活かすため、さまざまな仕組みを設けている</p> <p>保護者の声をサービスや保育実践の質向上に活かすことを重視し、日々の対話や連絡帳で寄せられた意見は「ご意見・ご提案シート」に集約して対策を講じている。毎年9月の利用者アンケートも職員で共有し、改善策を検討して実践に結びつけている。年度末に次年度への「策定会議」を行い、子どもに体験させたいことや必要な支援を職員が提案し、計画に反映している。内部監査では、安全・保育内容・環境がマニュアル通りに運用されているかを第三者的視点で確認しており、ISO審査や第三者評価の受審も、指摘事項の改善や基準の見直しに活かしている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(00000)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携を図っている	<input checked="" type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>常設された多様な空間を通して子どもの興味に応じた主体的な活動を支えている 子どもがその日の興味や気分に応じて活動を選べるよう、遊び・生き物・本・制作といった複数の活動スペースを整えている。生き物の世話や本に触れる場、制作に取り組む場など、異なる種類の空間が並行して存在することで、子ども自身が自然に遊びを選択できるように整えられている。こうした環境の中で、保育者は子どもの視線や動きをとらえながら、活動の選択や継続に関わっている。活動中のやり取りや小さな変化に対して、保育者が必要に応じて声掛けや援助の程度を調整することで、子どもが自分のペースで遊びに取り組めるようになっている。</p> <p>異年齢での関わりや異文化体験を積み重ね互いを尊重できるよう育んでいる 日常的に0～2歳児と一緒に過ごす室内環境を整えており、年齢の異なる子どもたちが自然に関わり合う機会が生まれている。年下の子どもが年上の子どもの遊び方を模倣したり、年上の子どもが年下の子どもに優しく声をかけるなど、年齢差を活かした学びが生活の中に位置づけられている。行事の中でも外国にルーツを持つ保護者に話をしてもらうことで、文化の違いに触れ、自分たちとの暮らしの違いに気づけるような機会も設けている。また、年に2回、人権チェックを行っており、保育者自身が子どもの人権に関する視点を振り返る機会も設けている。</p> <p>ケース会議等を通して個別の状況に合った関わりを検討し、支援している 個別の配慮が必要な子どもについて、ケース会議等で情報整理を行い、日々の活動や行事への参加方法を検討する機会を設けている。子ども一人ひとりが無理のない形で関わられるよう、活動の進め方や参加の仕方を調整しており、その内容は職員間で共有されている。子ども同士でけんかや行き違いが生じた際には、状況を見守りつつ双方の気持ちを代弁し、相手の思いを知るきっかけとなるよう関わっている。かみつきや引っかきなどの出来事があった場合には、経緯を整理して保護者へ説明し、安心して園生活を送れるよう情報の共有を行っている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時の聞き取りなどをもとに子どもの体調や様子を把握し、関わりに活かしている 朝の受け入れ時には視診や検温に加え、保護者から前夜の睡眠状況や朝の機嫌、食欲、家庭での出来事などを聞き取り、その日の生活リズムや関わりを判断する材料としている。聞き取った内容は「シッターノート兼お迎え伝達ノート」に記録し、体調の不安や気になる行動が見られた場合には、朝礼などで速やかに共有し、見守りの視点や配慮点を職員間で揃えるようにしている。また、家庭でのケガや気になる痕については写真に残し、社内チャットで共有することで、日中に関わる保育者が全員同じ情報を持った状態で援助にあたれるようにしている。</p> <p>家庭から得た情報をもとに、生活習慣が身につくよう発達に応じた援助が行われている 保護者から登園時に家庭での様子や体調を聞き取り、記録として残している。この内容は職員間で共有され、一人ひとりの状態を踏まえ、食事や排せつなどの基本的な生活習慣を支える援助につなげている。体調が思わしくない場合には、保護者の意向を確認したうえで室内活動への変更を行うなど、その日の体調に合わせて過ごせるよう配慮している。日中は全身状態をこまめに観察し、気になる変化があれば検温を追加するなどの体調管理も行われている。また、生活習慣に関する保護者からの相談や要望は、園での様子を具体的に共有しながら援助されている。</p> <p>休息の取り方やお迎え時の伝達を工夫し、子どもの生活リズムを安定させている 午睡の時間帯や長さは子どもの状態や家庭の意向に応じて調整しており、眠れない様子が見られた際には別室に移すなど、落ち着いて休息できる環境になるよう工夫している。休息後の様子や活動への戻り方も職員間で共有し、無理のない形で生活の流れに戻るよう見守っている。降園時には法人で取り組む「3分間対応」を実践し、保護者と日中の様子をできる限り具体的に共有できるよう、担当者だけでなく遅番の保育者にも引き継ぎを行っている。お迎えの場では、子どもの過ごし方や気になる点を保護者と共有し、要望や相談に耳を傾ける機会としている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの心身の発達が促されるよう、戸外・園外活動(外気浴を含む)を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもが自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもが興味・関心に応じた遊びを選び、試せるよう、素材や活動の環境を工夫している 子どもが好きな時に好きな人と遊べるように、活動場所を選べる環境を整えている。制作遊びの場では、紙や粘土などさまざまな素材に手を伸ばしやすい工夫がなされ、子どもの興味に応じた制作が展開できる環境となっている。絵本を使った歌やリズム体操など、日々採り入れている活動もあり、身体の動きや声を出す経験が遊びの中に位置づけられている。こうした環境の中で、子どもたちは自分で選んだ遊びを繰り返したり、遊びを変えたりしながら過ごしており、保育者は遊びの様子を見ながら必要に応じて素材を追加したり、配置を調整したりしている。</p> <p>地域交流と日々の言葉の働きかけを通して、子どもの応答的な関わりを促している 商店街ツアーを週2回程度実施し、花屋や魚屋の店員と接する機会を設けている。保育者が率先して挨拶したり、店員と会話したりする姿を示すことで、子どもが挨拶を返したり、ハイタッチをするなど、相手とのやり取りが生まれている。散歩中に見つけた自然物や季節の変化に合わせて、職員が歌を歌ったりハミングしたりする場面があり、歌やリズムに合わせて声を出したり、身体の動きで応じたりする姿につながっている。リズム体操は室内だけでなく屋外でも行われ、動きや声を通して保育者とやり取りする時間が日々の活動に位置づけられている。</p> <p>毎日の園外活動を通して、多様な場所での遊びや身体の動きを経験できるようにしている さまざまな環境での活動が日課に位置づけられており、朝9時には園外へ出て昼食まで過ごし、午後もおやつ後に出かけることを基本としている。天気がよい日は近隣の公園で過ごし、走る、登る、探すなどの全身を使った遊びを採り入れている。天候によっては支援センターを利用し、室内で身体を動かす活動に切り替えている。また、商店街や店舗へ向かう機会もあり、周囲の環境に触れながら散歩を楽しんでいる。さらに、近隣の支援センターでの体育遊びや、系列園への移動保育といった、普段とは異なる場所で活動する機会も設けられている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもの興味関心や必要な体験をもとに、行事内容を毎年見直し、構成している</p> <p>年間行事や体験活動を決める際には、前年の内容を踏襲するのではなく、いったん白紙に戻して検討している。決まった行事をこなすのではなく、保育者が子どもにどのような体験を積ませたいかを考え、その年の子どもの興味や姿に応じて活動を組み込んでいる。月1回の遠足についても、子どもの関心・歩ける距離・当日の子ども同士や職員との関係性などを踏まえて行き先を選定しており、そのときに経験させたい内容が反映されている。他の行事についても、職員間で「子どもたちにとって何が必要なのか」という視点で整理し、話し合い、決定されている。</p> <p>運動や発表会など、子どもの姿に合わせ、成長が伝わる行事として位置づけている</p> <p>行事は、子どもに何かをさせるのではなく、一人ひとりの年間の成長を見てもらう場として位置づけている。運動会は小学校の体育館を借りて親子参加型で行い、ハイハイやかけっこ、跳び箱の上り下り、ボール片付けなど、日常で見せている動きや遊びが競技として採り入れられている。生活発表会は、日々の遊びや体操などを通してできるようになったことを保護者に伝えることを目的として実施している。行事前には、練習の様子を動画や写真で共有し、活動の背景にある子どもの姿が伝わるよう工夫することで、成長の理解をより深められるようにしている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>興味・関心に応じた環境や個別の関わり等、子どもが落ち着いて過ごせるよう努めている 保育時間が長い子どもが安心して過ごせるよう、子どもの興味や関心に合わせて、ままごとのコーナー、制作やパズルなどを行う机上遊びのコーナー、身体を動かして遊べるスペースなどを設け、子ども自身が活動場所を選べる環境が整えられている。また、疲れが見られる時間帯には落ち着いて身体を休められるスペースを確保し、ゆったり過ごせる選択肢も用意している。夕方のお迎えが集中する時間帯には寂しさを感じる子どもがいるため、可能な限り1対1で関わり、その子の気持ちに寄り添いながら落ち着いて過ごせるよう配慮している。</p> <p>保育時間の変化に合わせて活動を調整し、子どもの思いに沿って過ごせるようにしている 保育時間が長くなる中で子どもが楽しく過ごせるよう、遊びの内容を切り替えたり、保育者と密に関われる活動を採り入れている。外で過ごすことが多い日中とは異なり、夕方は玩具やパズルを使ってじっくり取り組める遊びができるよう環境が整えられている。普段は2歳児が遊ぶことが多い玩具に1歳児が「やりたい」と関心を示し、特別感を持って取り組む姿も見られている。また、延長保育の時間帯は少人数で過ごすため、子どもの「やってみたい」という思いや、落ち着きたいという気持ちに合わせて活動を調整し、無理なく過ごせるよう配慮している。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動、保護者や地域の多様な関係者との連携等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもが食事を心地よく楽しめるよう、安心して食べられる環境を整えている 落ち着いた雰囲気ですぐに食事ができるよう、遊びのスペースとは分けて食事の場を整えている。食器は主に陶器を使用しており、重さや大切に扱うという感覚が自然に伝わるようにしている。食事は保育者が各テーブルにつき、子どもを見守りながら一緒に食べる形で進められ、食事は楽しいものであるということを伝えている。苦手な食材について無理に勧めるのではなく、大人が食べて見せることで、子ども自身も食べてみようというチャレンジする機会につなげている。また、子どもの姿勢やマナーに関しても、ともに食べる中で自然に伝えられるようにしている。</p> <p>子どもの成長・発達に応じた離乳食の進行と、アレルギー対応の手続きを定めている 離乳食の提供は月齢では判断せず、子どもの様子を見ながら進めており、家庭での食材確認を経て、担任・調理師・保護者が同席する面談で次の段階へ移行している。食物アレルギーには、検査結果や生活管理指導票などをもとに、開始前に面談を行い、職員間で共有し提供を始めている。提供時には、専用のトレーや除去食材などを明記したものを用意し、調理師と配膳担当職員が内容確認し、提供担当者とも確認してから子どもに提供している。献立は法人共通の構成としつつも、個別の味つけや形状調整など、柔軟な対応が可能な体制を整えている。</p> <p>栽培活動やクッキングを通して、子どもの食への関心を高める取組を行っている 食への関心を高めるための取組として、園前のプランターや関連園で野菜栽培を行っており、収穫した野菜を給食に活用している。また、月に一度の食育活動ではクッキングを実施し、子どもが食材に触れたり簡単な調理に関わったりする体験を採り入れている。季節感のある献立や行事食を提供する際には、関連する絵本を読んだり、行事にまつわる話をするなど、食べる前から関心を持てるよう工夫している。喫食状況については、保育者が日々の様子や残食を確認し、調理師が保護者へ直接話す機会もあり、食への理解を深める機会がとられている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの入退所により環境に変化がある場合には、入所している子どもの不安やストレスが軽減されるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもの安全を守るための事故防止に関する仕組みを整えている 事故防止委員会や園会議で日々の状況やヒヤリハットを共有し、事例をもとに対応や環境改善等を職員間で話し合い、再発防止や事故防止につなげている。事故やケガが発生した場合には、「ケガ事故発生時対応フローチャート」に基づいて、救急要請や本部への報告・相談、病院受診、経過観察などの対応を行っている。また室内外のハザードマップを作成し、少なくとも3か月に一度は見直しを行い、危険箇所の把握と改善に努めている。散歩の際には歩き方や交通ルールを伝えるほか、室内外でも危険をそのつど伝え、危険予知・回避の能力を育てている。</p> <p>健康維持に向けた健康観察を行うほか、医師との連携も図られている 子どもの体調は登園時の視診で確認するほか、子どもの表情や行動を観察し、泣き方の変化にも注意を払い、発熱が疑われる際には検温を行うなど、体調の急変に備えている。睡眠時にはSIDS対策を講じ、状況を記録している。投薬が必要な場合には、医師の診断書及び与薬依頼票を提出してもらい、1回分を預かり、指定の時間に職員が誤りのないよう確認して対応することとしている。嘱託医には年2回来園してもらい、全園児の健康診断を実施しており、保健面の助言を受けるほか、日常の健康上の不安についても、随時電話で相談に応じられている。</p> <p>清潔への意識を育むための援助や精神的な不安やストレスへの対応に努めている 手洗いや着替えなど、生活習慣の定着に向けては、行う場面を明確にし、無理なく続けられるよう、手順やコツを伝えている。着替えについては、戸外活動後や発汗・汚れ、本人の希望など状況を見て行い、清潔さへの意識が育つよう声をかけている。おむつ替えでも、言葉をかけながら行い、清潔の心地よさを言葉にして伝えるなど、衛生感覚を育めるよう援助している。子どもの入退所により環境に変化がある場合には、入所している子どもの不安やストレスが軽減されるよう、過ごす場所を分けて、できる限り個別で対応するなどの配慮に努めている。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の個々の事情に配慮した支援と、養育力向上に向けた情報提供に取り組んでいる</p> <p>保護者面談を随時行い、子育てや就労など家庭ごとの事情に配慮して支援を進めている。送迎時には「お迎え3分間対応」を心がけ、子どもの姿のほか、必要に応じてその日の気がかりな様子を伝え、保護者の話への傾聴にも努めている。また保育参加は家庭の都合に合わせて参加しやすくするため、随時受け付けとし、申込の利便を考慮して玄関に参加カレンダーを設置している。将来的には、室内環境の整備や畑の作業、調理保育など、保護者と協働できる取組を広げ、子どもの育ちへの理解を深めながら家庭の養育力向上にもつなげていきたいと考えている。</p> <p>保護者同士が自然に関わり合えるよう、年間を通して交流の機会を設けている</p> <p>子育てへの不安を和らげ、意欲や自信を得られるよう、保護者同士の交流の機会を設けている。運動会では親子競技や全員参加リレーを取り入れ、共通の体験を通じて家庭同士の距離が縮まるよう工夫している。生活発表会では保護者も一緒に参加できる内容を探り入れ、日頃の取り組みを共有しながら交流のきっかけをつくっている。「どろんこ祭り」では懇談スペースを設け、園特製の梅ジュースの提供など、気軽に会話が生まれる環境を整えている。また保護者懇談会では、自由懇談の時間を取り、保護者同士が子育ての悩みや情報を共有できる場としている。</p> <p>保育参加や懇談会などを通じて、園と家庭の共通理解と信頼関係を深めている</p> <p>保護者と職員の信頼関係を深めるため、送迎時の対話や随時の個別面談を大切にし、子どもの生活や育ちに関する情報を日々共有している。アプリを活用した配信や保育参加により、園での姿をわかりやすく伝え、職員の関わりを見える形にしている。発達や育児の共通理解を図る取り組みとして、生活発表会を練習披露の場とせず、座禅やリズム体操など日常の姿をそのまま共有し、子どもの成長を多面的にとらえられるようにしている。懇談会は子どもの姿や発達の見通しなどを伝え、園と家庭が共通認識を得る場となるよう考慮して実施している。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>日常的な園外活動を通じて体験が興味・関心を広げ、遊びにつながっている</p> <p>毎日ほぼ午前・午後のどちらかで園外に出て活動する時間を設けている。周辺の公園での自然観察や運動遊びのほか、図書館や銭湯、地域の店舗など、生活に根差した場所へ訪れる機会が多く、子どもたちは地域の環境そのものに親しみながら過ごしている。散歩では季節の変化や草花・虫への気づきが見られ、拾った自然物を制作に用いるほか、なりきり遊びにも発展するなど、活動が広がっている。また支援センターでの体育遊びや系列園への移動保育など、地域の資源を活用した多様な体験が、子どもの興味・関心の広がりを促している。</p> <p>多世代・地域との交流を通じて子どもの社会性の基礎が育まれている</p> <p>高齢者施設とは、ハロウィンやクリスマスの行事、伝承遊び「投扇興」に参加するなど、交流が持たれており、日常とは異なる世代との関わりを経験する機会となっている。商店街ツアーでは、ピザ店や豆腐店、神社などを訪れ、店の人との会話や挨拶を交わし、大学生の読み聞かせや高校生の職場体験を受け入れている。また小学生や消防署とも交流があるなど、地域で暮らす、多様な年代と接する機会が持たれており、これらのさまざまなふれ合いは、子どもたちの社会性やコミュニケーションの基礎づくりにつながっている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	乳児の特性を踏まえながら、子ども一人ひとりの主体性の伸長を促している	
内容①	子どもが自らの興味や意欲に基づいて主体的に活動を選べるよう、ままごと・生き物・本・制作などの空間を常設し、その日の関心に応じて過ごし方を選択できる環境を整えている。保育者は子どもの反応や視線の向き、身体の動きから示されるサインを読み取り、声かけのタイミングや言葉の選び方を調整しながら、子どもが自分で試そうとする姿を途切れさせない関わりに努めている。また、異年齢での関わりや、地域の方による異文化の紹介の機会を設け、年齢や文化の違いに気づく体験を通して他者を受けとめる力の芽生えを支えている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている
タイトル②	さまざまな仕組みを設け、業務の基本を確認と徹底に取り組んでいる	
内容②	法人共通の「保育運営マニュアル」と「保育品質マニュアル」を基盤に、業務の基本を随時確認できる仕組みを整えており、保育品質マニュアルは毎年度最新版が全職員に配付されている。ケガや病気、衛生管理のフローチャートは保育室に掲示し、事故防止・設備点検チェックリストや誤飲・誤嚥防止チェックリストを用いて点検を定期的に行っている。「キックオフミーティング」や「OJT研修」では、危機管理・衛生管理・保育全般など業務の基礎を学び直し、本部への報告基準や各種フローチャート、散歩ルートの危険箇所、清掃方法などを確認している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保護者との信頼関係の深化に向け、保護者との子どもの姿や成長の共有に努めている	
内容③	送迎時の対話や随時の個別面談によって、子どもの様子や家庭の状況の把握に努めるほか、アプリで活動の様子を配信し、園での子どもの姿や保育内容を伝えている。保育参加は随時受け付け、家庭の都合に合わせて参加しやすくしている。生活発表会は、日常の取り組みを見てもらう形式とし、子どもの成長を保護者と共有している。懇談会では子どもの姿や発達の見通しを伝え、自由懇談の時間も設けている。利用者調査では総合・質問別とも保護者の高い支持を得ており、保護者との交流におけるこれらの丁寧な取組も寄与しているものと思われる。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	小規模園の特性を活かし、計画立案から実践までを組織全体で進めている
	内容	日々の受け入れで得た情報や家庭での様子は「シッターノート兼お迎え伝達ノート」に記録し、朝礼・昼礼・園会議などで共有され、職員全員が同じ理解に立って保育を進めている。アセスメントや個別記録、月案・週案・日案などの計画類も組織全体で検討されており、子どもの姿を踏まえて、継続的かつ具体的な見直しが行われている。行事や体験活動についても白紙から検討し、職員間で「子どもにどのような経験を積んでほしいか」を軸に活動が構成されており、育ちの把握から計画、実践、振り返りまでの一連の流れが、全職員で取り組まれている。
2	タイトル	戸外活動や生き物とのふれ合いを通して、子どもたちが自然に親しむ機会を確保している
	内容	子どもが身近な自然と関わる機会を日常的に持てるよう、毎日朝から戸外で過ごす時間を確保し、周辺の公園での遊びや探索活動を継続して行っている。また、週2回は系列園へ赴き、野菜の栽培に取り組んだり、飼育されているニワトリやヤギに触れたりするなど、生き物を間近に感じながら過ごす体験が積み重ねられている。園でもダンゴムシを育てる活動が行われており、普段の飼育や観察に加え、死んでしまった際には畑まで運んで土に返すなど、子どもが「生と死」に向き合う経験を自分なりに受けとめる機会が設けられている。
3	タイトル	「園会議」「保育の質をあげる会議」など、機会をとらえて話し合いの場を設け、問題解決や協同的な学びに取り組んでいる
	内容	「園会議」「保育の質をあげる会議」など、毎月設ける会議に職員が集い、活発な話し合いのもとで、問題解決や協同的な学びに取り組んでいる。園会議での直近の諸課題の検討に加え、年度の施設目標「あったか神楽坂～自分らしくいられる場所～」に関連し、子ども・保護者への接遇やミス・事故防止の徹底など、具体的な実践に関する啓発や報告が随時なされ、事故・ヒヤリハット等の事例を踏まえた改善にも取り組んでいる。また法人の保育を保育所保育指針などに関連づけながら学び直す取組も毎月行い、園全体で保育の質的向上を図っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育環境を、乳児の発達段階や園児の姿をとらえながら随時見直し、最適化させてゆく営みを、組織の文化として根づかせたいと考えている
	内容	系列園共通に基本とする「外に出る」という保育では、室内環境を子どもの発達や興味・意欲をとらえながら作り込む営みは、現場にとっては発想しづらい面もあるが、室内での日々の活動や遊びも、子どもの主体性や興味・関心の伸長を支援する要素であり、経営層はそれらをより豊かに工夫する取組の必要性を認識している。子どもの様子を職員間で話し合うという土台が整いつつある中で、子どもが自分で選び、遊び込める環境づくりを目指した取組を進め、組織の文化として根づかせたいという意向も示されており、今後の取組と成果に期待が寄せられる。
2	タイトル	現場の働く環境の快適性向上について、事業計画上の重点施策にも挙げ、より計画的に取り組むことを期待したい
	内容	今年度は昨年度に比べ、在籍園児数が増加している事情もあり、職員自己評価では、労働環境面で集計値・自由意見とも、現場の課題認識が示されている。昨年度は各職員が分担して行っていた、発注事務等の周辺業務を、今年度は副施設長に集約するとともに、毎日の勤務シフト体制を当日の朝番職員が立案する仕組みとし、機動的な配置・休憩等の確保を図るなど、対策も始められているが、事業計画上の重点施策にも挙げ、より計画的に取り組むことも期待される。少人数の体制下で実施可能な取組を、現場との協働のもとで検討することを期待したい。
3	タイトル	災害時の運営や優先業務の継続について、必要な事柄の洗い出しと、その実際の運用に関する組織的な研鑽を図られたい
	内容	災害や感染症など、事業の継続を脅かす重大事態への対応は、法人策定の「業務継続計画」「クライシスマニュアル」に定められているが、これらの記載はいずれも法人・事業者単位の対応が主となっている。昨年度からの継続課題であり、すでに法人内で検討が始まっているが、園内でも毎月の防災訓練による避難・初動対応等の確認に加え、発災後の種々の制約のもとでの運営や優先業務の継続を念頭に、想定・明確化すべき事項の洗い出しと、必要な対応・体制等を含むそれらの文書化や訓練等、組織的な研鑽に取り組むことも期待される。